

シャガール展 Chagall

三次元の世界

～キャンヴァスから飛び出す恋人や動物たち～

休館日 | 月曜日(1月8日、2月12日は除く)、12月29日(金)～1月3日(水)、9日(火)、2月13日(火)

開館時間 | 午前9時30分～午後5時、金曜日は午後8時まで(入場は閉館30分前まで)

主催 | 名古屋市美術館、中日新聞社

後援 | 在日フランス大使館/アンステイチュ・フランセ日本、愛知県・岐阜県各教育委員会、名古屋市立小中学校PTA協議会

特別協賛 | 理研産業補聴器センター 協賛 | アイシン・エイ・ダブリュ 特別協力 | メレット・メイヤー、国立マルク・シャガール美術館

協力 | 日本航空、名古屋市交通局、JR東海、近畿日本鉄道 企画協力 | キュレイターズ

展覧会公式サイト | <http://www.chunichi.co.jp/event/chagall>

2017 12.14 THU 2018 2.18 SUN



芸術と科学の社

中日新聞



名古屋市美術館

〒460-0008 名古屋市中区栄2-17-25 芸術と科学の社・白川公園内
TEL 052-212-0001 FAX 052-212-0005
<http://www.art-museum-city.nagoya.jp>

絵画:《誕生日》1923年 油彩/キャンヴァス AOKIホールディングス蔵 彫刻:《ふたつの頭部と手》1964年 大理石 個人蔵 ©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2017, Chagall E2667

本展は、国立マルク・シャガール美術館が開催した展覧会「シャガール彫刻展」(2017年5月27日～8月28日)に企画協力しています。

世界 三次元の シャガール

シャガールが初めて陶器を手がけたのは1949年、戦火を逃れて亡命していたアメリカからフランスに戻った翌年のことでした。この頃から彼の活動の場所はパリではなく、地中海の光あふれる南フランスの小さな村々へと移っていきます。環境の変化は創作にも大きな影響を与えます。陶器を手がけた2年後の1951年には最初の彫刻作品が誕生します。この頃シャガールはすでに60代半ばの円熟期にさしかかっていましたが、新しい表現手段を手にした彼は、まるで子どものように喜々としながら新たな創作意欲をみなぎりさせます。そして生み出された陶器や彫刻の数々。それは画家の余技をはるかに超えた、独自性と創造の喜びにあふれています。

<シャガール：三次元の世界>と題された本展は、この作家のあまり知られていない彫刻と陶器などの立体作品を、まとめてご紹介する日本で初めての試みです。約170点の出品作品のうち、3分の1が彫刻と陶器、それ以外は馴染みの深い絵画や素描、版画といった構成です。シャガールが立体作品に取り組むのは晩年ですが、三次元への意識はごく初期の作品にも見られます。絵画と彫刻、平面と立体が、この作家の中でどのように意識され、作品化されていったのか。その創作の秘密に本展は迫ります。初めてのシャガールとお馴染みのシャガール。2つのシャガールの世界をどうぞお楽しみください。



INSTITUT FRANÇAIS
Musées nationaux
Chagall
du XX^e siècle
FLEGER
des Alpes-Maritimes
Picasso

1. 「黒い手袋」1923-28年 油彩/キャンバス 個人蔵
 2. 「逆さ世界のヴァイオリン弾き」1929年 油彩/キャンバス 吉野石青株式会社蔵
 3. 「振り子時計のある自画像」1947年 油彩/キャンバス 個人蔵
 4. ブロンズ作品(雄鶏)を仕上げるシャガール パリ近郊ヌッスの铸造所にて 1952年 撮影:イジス ©IZIS Bidermanas
 5. 「空想の動物」1952年 石膏 個人蔵
 6. 「散歩」1961年 陶土、酸化化合物を含む釉薬、筆による部分的なエナメル彩色、ドライポイント 個人蔵
- © ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2017, Chagall® E2667

[関連催事]

記念講演会

2017年12月23日[土] 14:00~

演題:「シャガールとは何者か? 東欧ユダヤ人としての
モダン・アーティスト」(仮題)

講師 | 團府寺司 (大阪大学教授)

先着順
定員
180名

作品解説会

2017年12月17日[日] 14:00~15:00
2018年1月27日[土]

13:30に開場し、
定員に
達し次第締切

講師 | 深谷克典 (名古屋市美術館副館長) 達し次第締切
※会場はいずれも名古屋市美術館2階講堂

ボランティアによるギャラリートーク

2017年12月23日[土・祝]、28日[木]、2018年1月7日[日]、
10日[水]、11日[木]、14日[日]、18日[木]、20日[土]、
23日[火]、25日[木]、31日[水]、2月8日[木]

10:30~ / 13:30~ (約60分)

※展覧会観覧券で参加できます。会場入口にお集まりください。
※都合により休止することがあります。

閉館後の展示室内での特別鑑賞会 (人数限定: 有料)

2017年12月23日[土] 学芸員による解説+軽食

2018年1月6日[金] 学芸員による解説+スイーツ

2018年1月20日[金] 学芸員による解説+コンサート

各日17:00集合 事前申込制

※申込方法、参加料等の詳細は当館HPをご覧ください。

観覧料	当日	前売・団体
一般	1,400円	1,200円
高大生	1,000円	800円
中学生以下	無料	無料

※団体割引料金は20名以上に適用

- シャガール展の早割ペアチケットを期間限定販売します。
販売期間=2017年7月1日[土]~9月30日[土] 販売価格=2,000円
- 前売券は主要プレイガイド、チケットぴあ(Pコード768-455)、ロソンチケット(Lコード45545)、セブンチケット、イープラス、主なコンビニエンスストア、中日新聞販売店、中日文化センターなどでお求めいただけます。(前売券販売は2017年10月1日[日]から12月13日[水]まで) ●身体等に障害のある方は、手帳の提示により本人と付添者2名まで当日料金の半額でご覧いただけます。 ●名古屋市交通局発行の「一日乗車券」「ドニエコまっふ」を当日利用して来館された方は100円割引。
- 「名古屋市美術館常設展定期観覧券」の提示で団体料金が適用されます。
- いずれも他の割引との併用はできません。 ●「シャガール展」の観覧券で常設展もご覧いただけます。



ご会場は公共交通機関をご利用ください。●地下鉄東山線・鶴舞線「伏見駅」下車、5番出口から南へ徒歩8分 ●地下鉄鶴舞線「大須観音駅」下車、2番出口から北へ徒歩7分 ●地下鉄名城線「矢場町駅」下車、4番出口から西へ徒歩10分

名古屋市美術館

Nagoya City Art Museum [芸術と科学の杜・白川公園内]

〒460-0008 名古屋市中区栄2-17-25

TEL 052-212-0001 FAX 052-212-0005

http://www.art-museum.city.nagoya.jp

